

入門用ガイド



Adobe RoboHelp (2017 release)

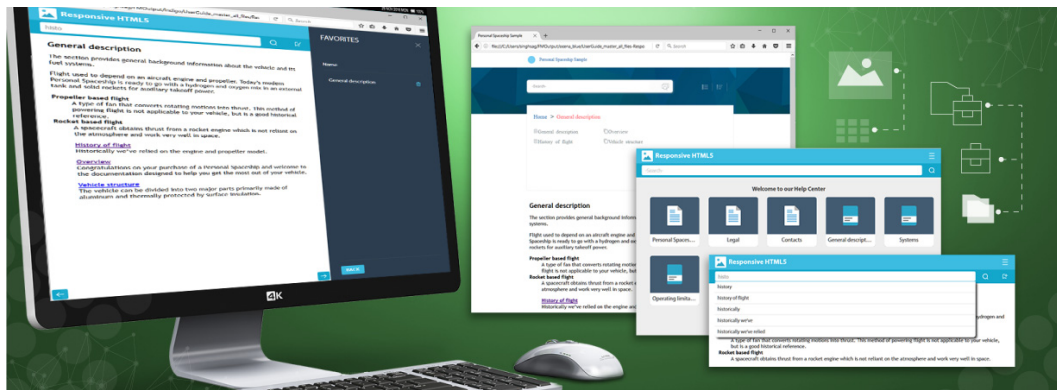


目次

| | |
|--|-----------|
| はじめに | 1 |
| Adobe RoboHelp (2017 release) の入手方法 | 2 |
| 次世代型 HTML5 公開機能により、品質の高い対話型コンテンツを作成 | 3 |
| 次世代型レスポンシブ HTML5 のレイアウト | 3 |
| コンテンツアクセシビリティの向上 | 4 |
| オートコンプリート機能による迅速な検索 | 5 |
| サムネールの追加機能 | 6 |
| レスポンシブ HTML5 レイアウトにお気に入りを追加 | 7 |
| 短時間でより多くの作業を処理 | 9 |
| 変数ビューの切り替え機能 | 9 |
| バゲッジファイルにフォルダーを読み込む | 10 |
| 追加の参照資料 | 11 |
| バージョンの比較表 | 11 |
| 製品ページ | 11 |
| ユーザーガイドとサポートページ | 11 |
| 法律上の注意 | 13 |



はじめに



Adobe RoboHelp (2017 release) では、作成したコンテンツを個人用にカスタマイズして、任意のデバイスで使用することができます。また、複数の生産性向上機能により、さまざまな処理を行うことができます。URL をサポートするコンテキスト依存ヘルプを、動的にフィルタリングされた新しい出力として表示し、異なるフィルターの組み合わせでコンテンツがどのように表示されるかを確認することができます。また、コンテンツを公開する際に、優れたナビゲーション操作を実現するフレームレスなレスポンシブ HTML5 レイアウトを作成することができます。

このガイドでは、RoboHelp (2017 release) の新しい機能とワークフローの概要について説明します。このリリースで導入された拡張 UI を理解するためのさまざまなナレーション付きビデオが用意されています。このリリースを使用する前に、これらのビデオを確認してください。

[adobe.com](https://www.adobe.com) には、この入門用ガイドのほかにも、「[RoboHelp ユーザーガイド](#)」などのさまざまなオンライン資料が用意されています。RoboHelp の重要な参照資料については、このガイドの「[追加の参照資料](#)」セクションを参照してください。

はじめに

Adobe RoboHelp (2017 release) の入手方法

購入前に RoboHelp を試してみたい場合は、すべての機能が搭載された 30 日間無料の試用版を [こちらからダウンロード](#)してください。

Adobe RoboHelp (2017 release) の各種購入方法については[こちらを参照してください](#)。

旧バージョンの RoboHelp のアカウントを既にお持ちの場合は、アップグレード時に特別価格が適用されます。以下の表を参照してください。

| お持ちの場合 | Adobe RoboHelp (2017 release) へのアップグレード | | | |
|-------------------------|---|---------|--------|----------|
| | 米ドル | ユーロ | 豪ドル | 円 |
| RoboHelp (2015 release) | 399 ドル | 399 ユーロ | 399 ドル | 52,500 円 |
| RoboHelp 11 | 599 ドル | 599 ユーロ | 599 ドル | 78,900 円 |

詳細については [RoboHelp](#) の Web サイトを参照してください。

次世代型 HTML5 公開機能により、品質の高い対話型コンテンツを作成

次世代型レスポンシブ HTML5 のレイアウト

新しく設計されたフレームレスレスポンシブ HTML5 レイアウトにより、非常に視覚的なコンテンツを作成することができます。この新しいフレームレス HTML5 のレイアウトを使用すると、高度な検索機能とナビゲーション機能が実現します。自社のブランディング要件やユーザーのニーズに合わせて、こうしたレイアウトを構成することができます。

用語集や目次のないシンプルなインターフェイスが必要な場合は、用語集や目次などのウィジェットを簡単に非表示にすることができます。こうしたレイアウトのレスポンシブな設計により、モバイル、タブレット、デスクトップなどの各種デバイスからシームレスにアクセスすることができます。

- ・高度な検索機能とナビゲーション機能が組み込まれた新しいフレームレスレスポンシブ HTML5 のレイアウト

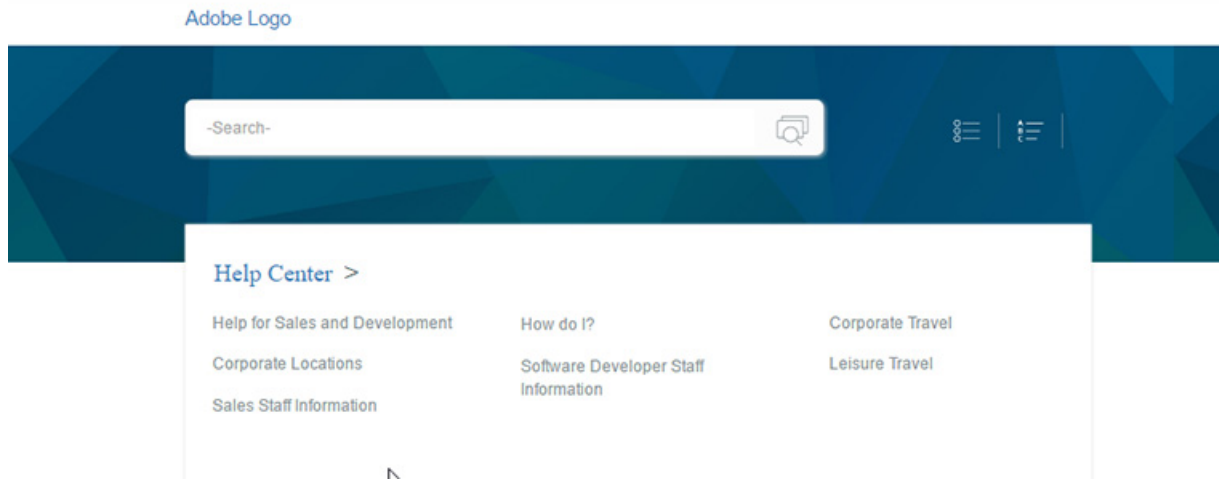
- ・ウィジェットの表示/非表示の制御

新しいレスポンシブ HTML5 レイアウトを使用するには：

1. 出力設定ポッドを開きます。
2. 「画面レイアウト」を右クリックして「新規レスポンシブレイアウト」を選択します。
3. 新しいレスポンシブ HTML5 のレイアウト（オーシャンレイアウトまたはインディゴレイアウト）を選択します。

次世代型 HTML5 公開機能により、品質の高い対話型コンテンツを作成

オーシャンレイアウトのレスポンシブ HTML5 の例を以下に示します。



コンテンツアクセシビリティの向上

身体に障害のあるユーザー用にコンテンツを拡張することができます。インディゴレイアウトで生成されたレスポンシブ HTML5 の出力は、リハビリテーション法第 508 条に準拠しています。インディゴレイアウトのレスポンシブ HTML5 を使用して、身体に障害のあるユーザー用のコンテンツを作成することができます。

オートコンプリート機能による迅速な検索

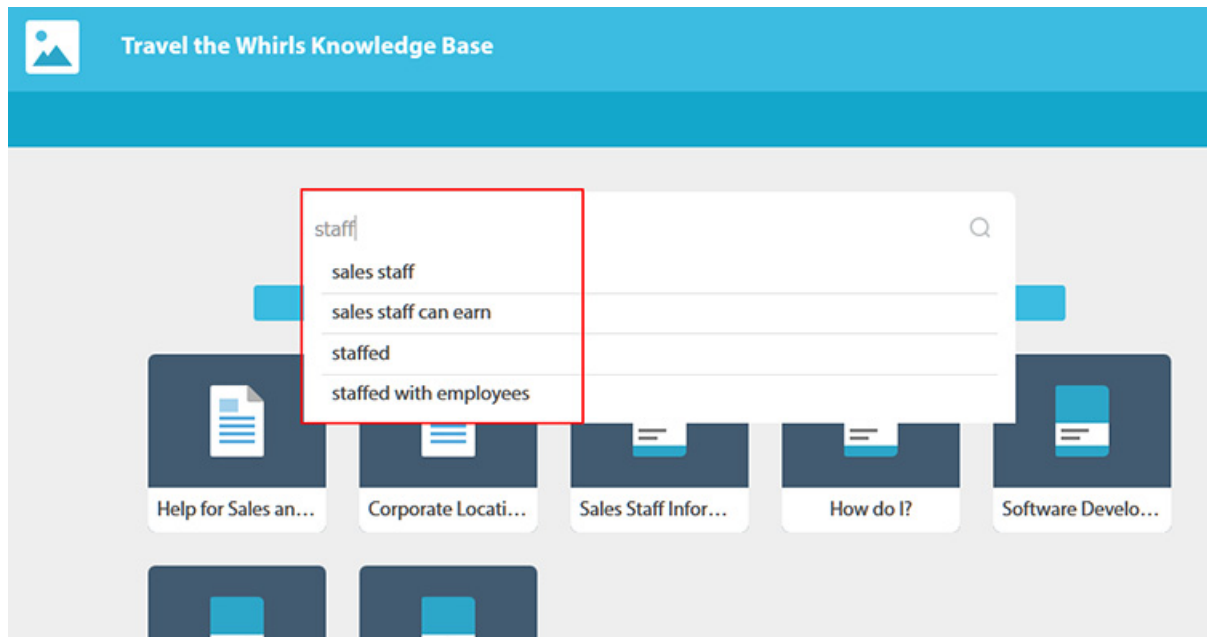
・レスポンス HTML5 の出力で検索結果を予測

・短時間で適切なコンテンツを検索

新しく設計されたレスポンス HTML5 のレイアウトにより、優れた検索機能が実現します。この新しいレイアウトにより、コンテキストとの関連性が高い検索結果が表示されます。これは、これまではなかった新しい予測検索機能です。

検索ボックスでいくつかの文字を入力すると、出力内でその文字列に最も適合する単語とストリングが検索エンジンによって表示されます。この検索機能のベースとなる高度なアルゴリズムにより、公開コンテンツ内における入力文字列の出現回数に基づいて、最も関連性の高いストリングが表示されます。このオートコンプリート検索機能により、わずか数回のクリック操作で、目的のストリングを簡単に検索することができます。

以下の画面ショットは、サンプルのオートコンプリート検索機能を示しています。



サムネールの追加機能

画像のサムネールを持つレスポンシブ HTML5 出力を公開できるようになりました。これにより、コンテンツのロード時間が短縮されるだけでなく、テキストコンテンツ用のスペースも広がります。画像のサムネールをクリックしたりタップしたりするだけで、その画像を簡単に拡大してアクセスすることができます。

モバイルデバイスの場合、画面上のスペースに制約があるため、その限られたスペースを最大限に活用するオンラインコンテンツを設計するのは簡単なことではありません。実際の画像の代わりにサムネールを使用することにより、テキスト用のスペースをより広く取ることができます。モバイルデバイス上でこの機能を使用することにより、利便性が大幅に向上します。

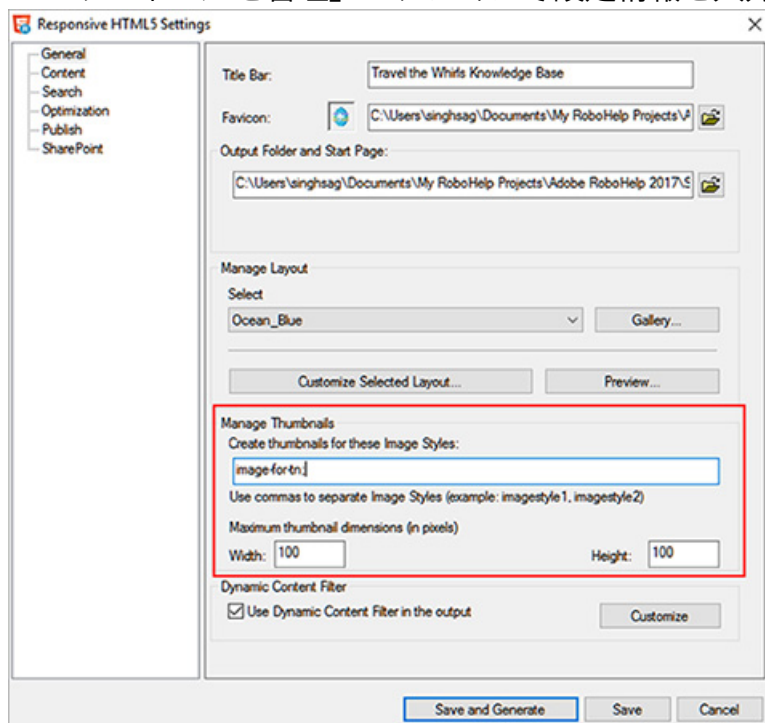
- サイズの大きな画像の代わりにサムネールを表示

- 画面上のスペースを効率的に活用

- コンテンツのロード時間を短縮

レスポンシブ HTML5 出力にサムネールを追加するには：

1. サムネールとして表示するすべての画像で使用される画像スタイルを作成します。
2. レスポンシブ HTML5 の設定ダイアログを開きます。
3. 「サムネールを管理」セクションで設定情報を入力します。



レスポンス HTML5 レイアウトにお気に入り追加

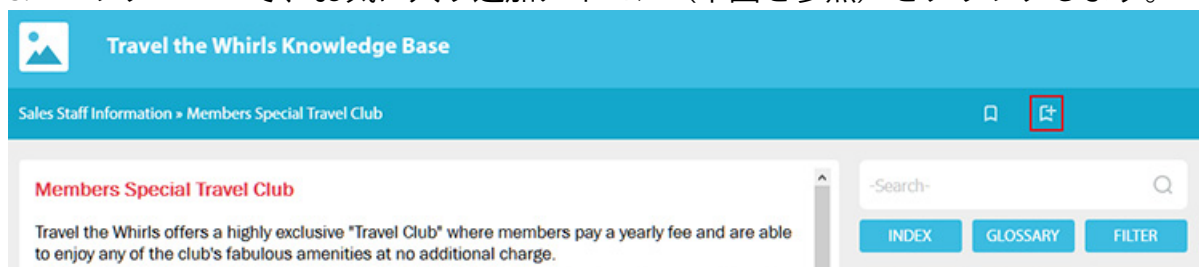
・新しいインディゴレイアウトのレスポンス HTML5 レイアウト内にお気に入りページを直接保存

・ブラウザのブックマーク機能は不要

「インディゴ」という名前の新しいレスポンス HTML5 レイアウトには、さまざまな新機能が導入されています。このレイアウトを使用すれば、ブラウザのブックマーク機能を使用することなく、お気に入りのコンテンツを保存することができます。この新しいインディゴレイアウトのレスポンス HTML5 では、レスポンス HTML5 の出力内にお気に入りページを直接保存することができます。わずか数回クリックするだけで、保存されているお気に入りページにいつでも簡単にアクセスすることができます。

レスポンス HTML5 出力にお気に入りトピックを追加するには：

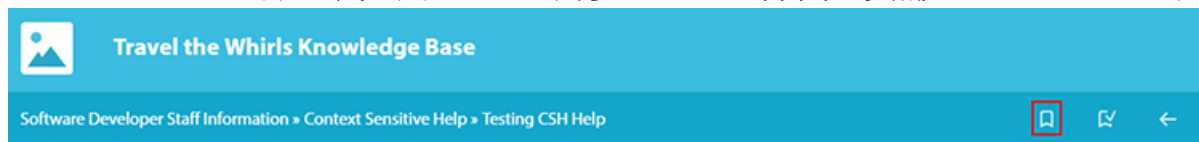
1. インディゴレイアウトのレスポンス HTML5 出力を生成します。
2. お気に入りとして保存したいトピックに移動します。
3. ヘッダーバーで、お気に入り追加アイコン（下図を参照）をクリックします。



これで、トピックがお気に入りとして保存されます。

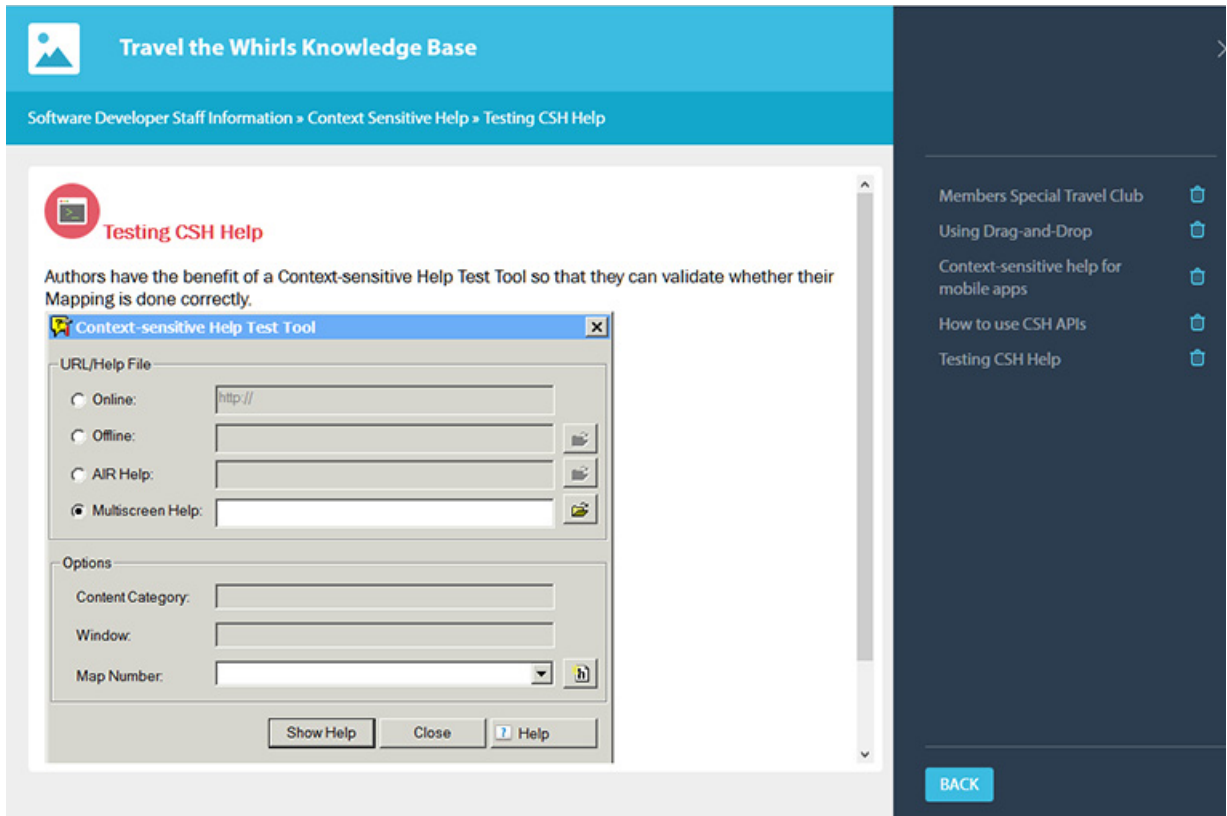
レスポンス HTML5 出力に保存されているお気に入りトピックを表示するには：

1. お気に入りトピックが保存されているレスポンス HTML5 出力を開きます。
2. ヘッダーバーで、お気に入りペイン表示アイコン（下図を参照）をクリックします。



次世代型 HTML5 公開機能により、品質の高い対話型コンテンツを作成

お気に入りとして保存されているトピックの一覧を示すお気に入りペインが表示されます。



3. 目的のトピックのリンクをクリックして、そのトピックを表示します。

短時間でより多くの作業を処理

変数ビューの切り替え機能

1つのトピックで多数の変数を処理する場合、処理が煩雑になることがあります。多数の変数を使用している場合は、ドキュメントを公開する前に、ドキュメント全体で正しい変数を使用されているかどうか、漏れている変数はないかどうかを確認する必要があります。

変数に関するこうした課題を解決するため、トピック全体で変数の名前と値を切り替えて表示するための新しい機能が RoboHelp に導入されました。すべての変数について、名前と値の表示を切り替えるだけで、トピック内で使用されているすべての変数を確認することができます。

変数ビューを切り替えるには：

1. 任意のトピックを開きます。
2. Shift+F11 キーを押すか、任意の変数を右クリックして、「フィールド」>「すべてのフィールドを切り替え」を選択します。

• 変数の名前と値の表示を切り替える

• ショートカットキーの Shift+F11 を使用して変数ビューを切り替える

バゲッジファイルにフォルダーを読み込む

・プロジェクトに関連するすべてのファイルを、1回のクリック操作でバゲッジフォルダーを読み込む

フォルダーとそのすべてのサブフォルダーをプロジェクト内のバゲッジファイルを読み込むことにより、処理時間を短縮することができます。以前のバージョンでは、1つのファイルしかプロジェクト内のバゲッジフォルダーを読み込むことができませんでした。このバージョンでは、フォルダー内の複数のファイルを1回の操作で簡単に読み込むことができるようになりました。さらに、バゲッジファイルフォルダーに読み込まれたフォルダーの履歴がプロジェクト内で保存されるようになりました。

バゲッジフォルダーをプロジェクトに追加するには：

1. プロジェクトマネージャーポッドでバゲッジファイルを右クリックします。
2. コンテキストメニューで、「バゲッジを読み込み」>「フォルダー」を選択します。
3. フォルダー選択ダイアログで、読み込むフォルダーを選択して「開く」をクリックします。

追加の参照資料

Adobe Technical Communication Suite とそれに付属するツールに関する追加情報は、オンラインで参照することができます。

バージョンの比較表

RoboHelp の最新バージョンと旧バージョンの比較については、[ここ](#)をクリックしてください。

製品ページ

- [Adobe Technical Communication のホームページ](#)
- [Adobe FrameMaker のホームページ](#)
- [Adobe FrameMaker Publishing Server のホームページ](#)
- [Adobe RoboHelp のホームページ](#)

ユーザーガイドとサポートページ

- [Adobe RoboHelp \(2017 release\) ユーザーガイド](#)
- [Adobe RoboHelp サポート](#)

追加の参照資料

- [Adobe FrameMaker \(2017 release\) ユーザーガイド](#)
- [Adobe FrameMaker ヘルプハブ](#)
- [Adobe FrameMaker Publishing Server \(2017 release\) ユーザーガイド](#)
- [Adobe FrameMaker Publishing Server サポート](#)

法律上の注意

こちらのリンクをご覧ください：[法律上の注意](#)

法律上の注意